校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども

・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和８年９月 24 日　第 119 号

難問

楽しみにしていたお祭りも６連休も、「あっ」というまに終わりました。

充実した休みになったでしょうか。私は、見忘れていたドラマを第１話から第 18 話まで見通しました。中央アジアの国や東南アジアに行ったような気分になっています。

そのドラマでは、耳栓を指せばみんなが日本語を話す、そんな機械が登場していました。実際、自動翻訳機の進歩はすさまじく、外国の方とアプリを通じてコミュニケーションが容易にとれるようになっています。

それでは、英語をはじめ外国語を勉強する必要があるのか、という問題が発生しています。

数学の世界には、「7 つのミレニアム懸賞問題」というものがあります。

「ホッジ予想」や「リーマン予想」。ロシアの数学者によって解決された「ポアンカレ予想」。

「なんのこっちゃ」の話ですが、最近 7 つのミレニアム問題のひとつ、「ナビエ・ストークス方程式」が解決されたと報道がありました。

誰が解決したかというと、AI(人口知能)。

これに数学者たちが抗議を始めました。数学者にとっては、長年研究しているものが AI に解明されるのは、屈辱だと思います。

日本では、10 年ほど前に将棋の棋士がコンピュータに負けるところを見ています。今では、AI を将棋の研究にいかに活用するかがテーマになっています。

言語にしても難解数学にしても、人間を超える存在がはっきりしてきました。さぁ、人間はどうする。難問です。